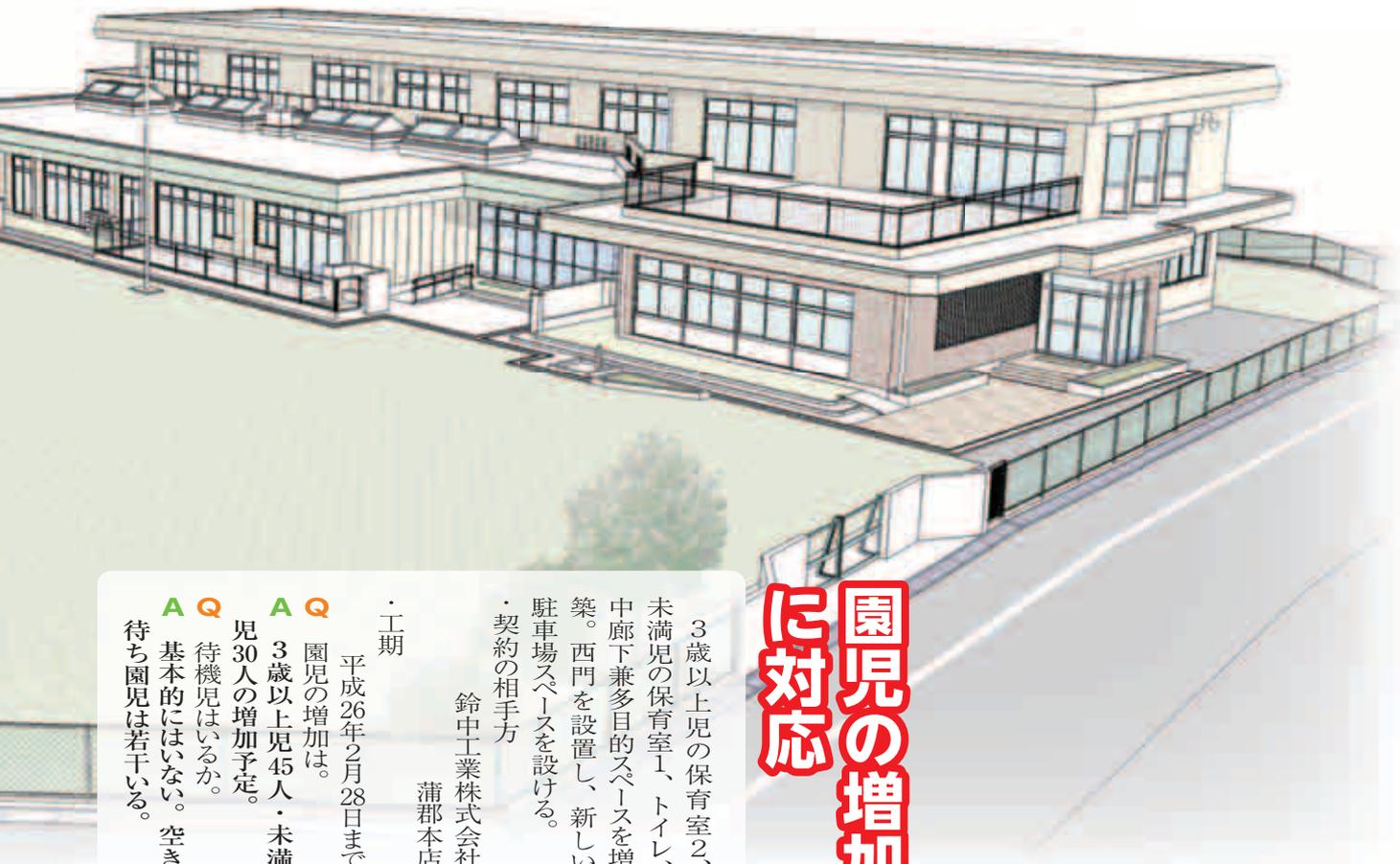


大規模改修はじまる



園児の増加 に対応

3歳以上児の保育室2、未満児の保育室1、トイレ、中廊下兼多目的スペースを増築。西門を設置し、新しい駐車場スペースを設ける。

・契約の相手方
鈴中工業株式会社

蒲郡本店

・工期

平成26年2月28日まで

Q 園児の増加は。

A 3歳以上児45人・未満児30人の増加予定。

Q 待機児はいるか。

A 基本的にはいない。空き待ち園児は若干いる。

3月

定例会の

あらまし

3月定例会は、3月1日から25日までの25日間の会期で開催しました。

初日には、町長が新年度予算の概要と施政方針「健全性を重視し、持続可能な住みよいまちを目指して」と、町政の基本的な考えを表明。

平成25年度の9会計の当初予算をはじめ、平成24年

度の補正予算、条例の部改正、わしだ保育園増築・大規模改修工事の請負契約など19件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。平成25年度予算審議は、予算特別委員会を設置し、すべて可決しました。

一般質問では、10人の議員が町政全般の問題をただしました。

町長 施政方針

我が国の経済は、欧州の債務危機や近隣諸国との摩擦などの影響により、先行き不透明な状況にあります。本町においても、税収全体では若干の回復を見込みましたが、回復段階に至っていないのが現状であります。このような状況の下、第5次幸田町総合計画の検証をおこないつつ、

わしだ保育園増築・大規模改修事業、高規格救急車更新事業、坂崎小・幸田中学校大規模改修事業、住民サービス向上のため役場庁舎1階フロアの改修など、新事業に取り組んでまいります。また、計画的な社会基盤の整備や住民サービスの向上を図りながら、事業仕分けなど行政改革にも取り組み、健全性を重視し、持続可能な財政運営に努めてまいります。

リニューアル

わしだ保育園増築

1億2810万円で契約

議案審議

葬儀用祭壇の貸し付けが廃止に

昭和38年からはじまり多くの住民が利用してきたが、住民意識の変化により利用者が減少したことで廃止。

利用状況は。

昭和40年から50年代は9割の利用であったが、平成24年度は3件に激減。

祭壇の活用は。

3基のうち1基は新斎場へ、2基は検討中。

社会福祉協議会で事業を受け継ぐ考えは。

検討する。

(反対2賛成13で可決)

職員給与引き下げ

国の支給基準との均衡を



図るため、職員の住居手当の廃止、勤勉手当基礎額から扶養手当を削除する。

対象人数は。

住居手当100人。扶養手当157人である。

扶養手当の削減で1人あたりの減額は。

最大6万2000円、最小9000円である。

(反対2賛成13で可決)

総合計画策定の条例を制定

法的義務が撤廃されたこと

で町独自に制定。

審議会メンバーの見通し

は。

平成25年度に総合計画

の評価をし、検討する。

総合計画の期間は。

どの期間が良いか今後

考えていく。

(全員賛成で可決)

平成24年度最終補正予算

会計年度も終わりに近づき、予算の追加や調整など一般会計、特別会計あわせて7議案が上程された。

国の緊急経済対策として「地域の元気臨時交付金」を活用し、わしだ保育園増築・大規模改修、幸田中学校大規模改修など5事業2億5450万円を繰越明許※とした。

※繰越明許とは翌年度に繰り越して使用することができる経費。

一般会計補正予算 4332万円増額

歳入の主なもの

地域の元気臨時交付金

6026万円

公共駐車場使用料

1800万円減額

歳出の主なもの

道路新設改良事業

3250万円

幸田中学校地震補強・大規模改修

4626万円

相見駅周辺開発整備

2720万円減額

防災行政無線デジタル化

7400万円減額

(全員賛成で可決)

特別会計補正予算

農業集落排水事業

300万円

下水道事業

2280万円減額

幸田駅前土地区画整理事業

(物件移転補償金など)

2億4365万円

(全員賛成で可決)



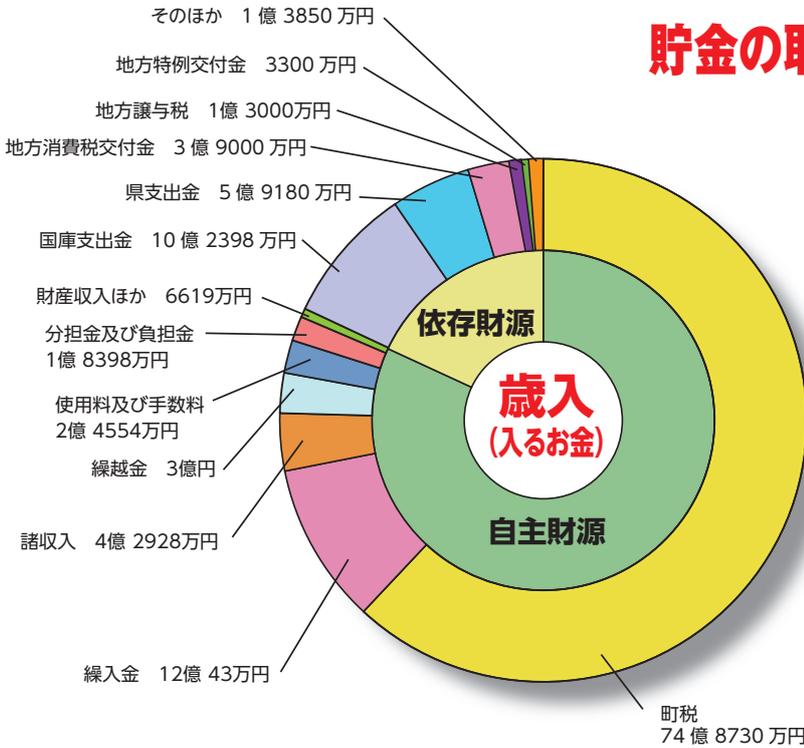
幸田駅前銀座

2年連続緊縮型

町債発行ゼロ(借金をしない)

貯金の取り崩し(11億4000万円)

自主財源 99億1272万円
依存財源 23億 728万円



町の歳入には、個人町民税・法人町民税・固定資産税・たばこ税の町税や繰入金などの自主財源(この割合が高いほど財政が安定)と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入である依存財源があります。

新年度予算の自主財源は歳入総額の81%を占めており、国からの地方交付税を受けない「不交付団体」(29年連続)を見込んでいます。また町債発行をゼロ(新たな借金をしない)としました。

当初予算

総額 192億8647万円

平 成25年度当初予算規模は一般会計と、7つの特別会計ならびに企業会計合わせて総額192億8647万円(対前年度比5.4%減)です。

健 全性を重視し、持続可能な住みよいまちをめざし、2年連続の緊縮型で「安全を最優先に、幸せを実感できるまちの予算」です。

借 金に当たる町債発行をゼロとし、歳出に見合う財源を確保するため財政調整基金(貯金)から11億4000万円を繰り入れしての予算編成となりました。

町 税の総額は、74億8730万円(前年度比6.6%増)で、その内訳は、個人町民税は、所得の増で22億6700万円(同7.1%増)とし、法人町民税は、若干の増を見込み、6億200万円(同33.3%増)となりました。

歳 出の主なものは、坂崎小学校の大规模改造、総合窓口設置、高規格救急車整備、道路新設改良事業、3地区の土地区画整理事業など。
特 別会計の主なものは、永野ポンプ場更新工事やライフライン機能強化工事などです。

反対 丸山千代子 議員

町民を応援する町政を

町税収は、回復基調で引き続き不交付団体と見込まれたが、住民税年少扶養控除廃止や子ども手当減額など住民負担増の要因もある。

祭壇貸付廃止や待機児がありながら働く町民の保育要望にこたえていない。格差社会の拡大、働く貧困層の増大で、町民の暮らしは厳しい。

町民を応援する町政をすすめるべきではないか。

反対 伊藤宗次 議員

財政厳しい強調は

町民萎縮さす

財政は厳しい、暮らし支援せず、役立つ事業は削減し、廃止する一方で、町長答弁で、区切りにする事業仕分けは取り組む。

保育園児英語遊びなどパフォーマンスは、町民の目を曇らせる。

大企業に適正課税適用で1億円の財源確保を。

幸田駅南駐輪場に雨よけ設置を。借地解消に本腰を入れた取り組みを。

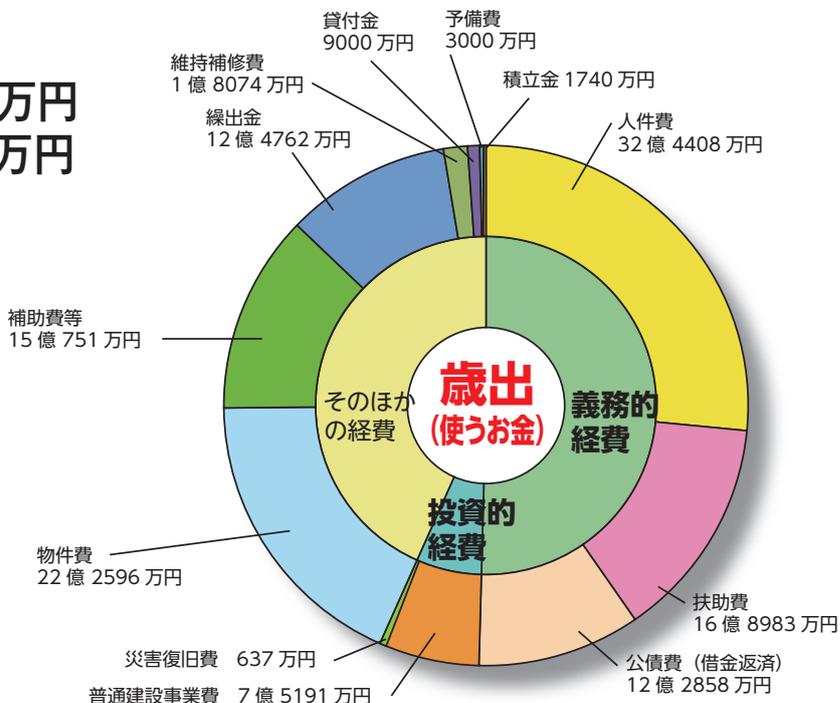
論



安全・安心を最優先

一般会計 122億2000万円を可決

義務的経費 61億6249万円
 投資的経費 7億5828万円



歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費など経常的に歳出が義務づけられ、任意に削減することができない義務的経費（この割合が小さいほど財政にゆとりがある）と、普通建設事業や災害復旧などの投資的経費があります。

新年度予算の義務的経費は、前年度比1億9383万円の増額。
 投資的経費は、1億2893万円の減額です。

各会計別の当初予算額と採決状況 (▲は減)

会計区分	予算額	前年度比 (%)	採決の状況
一般会計	122億2000万円	▲7.5	反対2:賛成13で可決
特別会計			
土地取得	4481万円	▲15.1	全員賛成で可決
国民健康保険	30億3113万円	0.9	反対2:賛成13で可決
後期高齢者医療	2億6813万円	▲3.9	反対2:賛成13で可決
介護保険	13億9702万円	3.4	反対2:賛成13で可決
幸田駅前土地区画整理事業	1億8715万円	▲64.5	全員賛成で可決
農業集落排水事業	3億8251万円	3.3	反対2:賛成13で可決
下水道事業	7億91万円	14.1	反対2:賛成13で可決
水道事業			
収益的支出	6億7950万円	1.0	反対2:賛成13で可決
資本的支出	3億7531万円	25.8	反対2:賛成13で可決
合計	192億8647万円	▲5.4	



おさいふの中身は

賛成

杉浦あきら 議員

安全最優先で幸せ実感

箱物行政を抑え、身近な事業を重視した予算である。

生活基盤整備として、防犯カメラの設置、農商工業活性化支援の継続、保育園、学校への投資事業などをおこない経済効果を期待できる。

役場1階フロア改修により一般町民に対し、もれなく、やさしい窓口と言われるような予算配分である。

賛成

中根秋男 議員

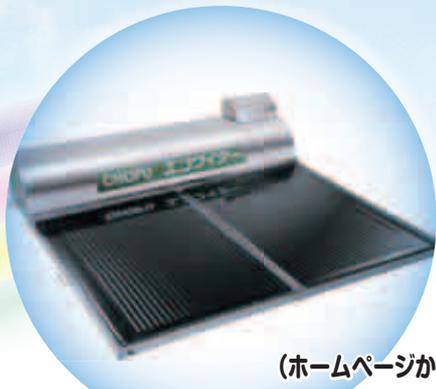
町の自立、産業の安定と発展

企業立地推進に向けての取り組み、新規借入れなしの予算である。

個別事業では、
 ①防災対策は、学校の耐震工事継続、ため池耐震調査。
 ②子ども医療費無料化の継続。
 ③地区の土地区画整理事業の推進。
 ④生活道路の舗装、側溝整備。

積極的な財源確保、持続可能な住みよい町づくり予算である。

実感できるまちに



(ホームページから)

太陽熱利用システム設置補助
45万円



5月7日
オープン

役場1階 総合窓口設置
3000万円



公共トイレ改修
3216万円



防犯カメラ設置工事
449万円



町を守る (里保育園)



予算特別委員会

Q & A

2日間にわたり集中審議

行政改革

総合窓口設置

Q どう変わるのか。

A フロアーマネージャーを配置し、1カ所で手続きや用事が済むワンストップサービスの導入。

ホームページのバナー広告

Q 収入と今後の見込みは。

A 50万円を見込む。ネーミングライツも行革の中で検討していく。

事業仕分け

Q 新年度の計画は。

A 3回目を8月に計画。一応の区切りと考える。

子どもの安全・安心

保育園・小学校改修工事

Q 新年度の安全事業の目玉は。

A わしだ保育園の改修と坂崎小学校の大規模改造。

子育て支援事業

Q 保育園英語あそびモデル事業とは。

A 年長児が6回／年程度「外国人が遊びに来た」感覚で英語に触れ合う。

子育てニーズ調査

Q 対象と調査時期は。

A 5歳児までの保護者に12月末までに実施する。

くらし直結事業

幸せを



高齢者肺炎球菌予防接種
450万円

岩堀
六栗
里



区画整理事業助成
7200万円



—新年度 廃止される事業—
・葬儀用祭壇貸付事業
・住宅資金利子補給制度
(新規申し込みから中止)
・チャイルドシート貸出事業



保育園英語あそびモデル
121万円



大規模改造
幸田中学校・坂崎小学校
9500万円



(ホームページから)
耐震シェルター補助
120万円



ぼくたちが

A 住宅の屋根に20件分。

Q 太陽熱利用システム設置支援の内容は。

新エネルギー・環境対策

A 三ヶ根駅東口や大井池など5カ所を予定。

Q トイレの改修計画は。

安全で快適な都市環境

快適生活・環境

A 遅くとも9月頃まで。

Q 通知の時期は。

A 75歳以上、5000円を負担する。

高齢者肺炎球菌予防接種

住民の健康

Q 対象と個人負担は。

A 補助金額は、30万円を限度に補助。

耐震シェルター設置補助

Q 補助の内容と金額は。

A 自力での避難が困難で低耐震性の木造家屋の方。

Q 設置場所と台数、時期は。

A J R 3 駅に設置工事。

防犯カメラの設置事業

くらしの安全